

小菊栽培マニュアル（第1版）

良い小菊を出荷するには、圃場の準備から施肥、定植、ピンチ、整枝、防除などの作業が的確に実行できている必要があります。つまり、良い小菊が生産し出荷できるのは、総合的な栽培技術を持っているということです。

このマニュアルは、県農業指導所や JA 指導員ではなく、実際に 20 アールの小菊栽培をしている農業者が作った実用性の高いものです。原案を R5 年秋頃から作り、その際には著者が所属する生産組合の手引きの内容も、実際に現場で使っていれば取り入れました。それから約 1 年寝かせました。いま読み返すと、昨年の異常高温などこの 2 年間の経験による“要修正”事項がかなりあります。特に防除の章は大幅な修正が要ると思っています。

このマニュアルの内容は、熟練者が読むと「くだい」のかも知れませんが、経験の浅い栽培者にとっては技術向上を図るための良い手引きだろうと思っています。(R7 年 1 月)

目 次

第 1 章	小菊栽培の背骨 これから栽培する人に -----	1
第 2 章	挿し穂と育苗の方法 -----	8
第 3 章	圃場の準備と定植・ピンチの方法 -----	14
第 4 章	開花調整の方法 -----	24
第 5 章	整枝の方法 -----	29
第 6 章	圃場と周辺の管理 -----	32
第 7 章	防除の方法 -----	34
第 8 章	収穫と出荷調製の方法 -----	47
第 9 章	出荷終了後の圃場の管理 -----	60
第 10 章	親株の植付と挿し穂の生産 -----	64

